

ソーシャルワーク・アドボカシーの新たな役割と可能性 ～我が事・丸ごと地域共生社会実現の課題からソーシャルワークに問われる専門性～

□日時:2017年11月19日 日曜日 10:00～17:00

□場所:日本女子大学目白キャンパス 八十年館 851 教室
〒112-8681 東京都文京区目白台 2-8-1 <https://www.jwu.ac.jp/grp/access.html>

□本セミナーの趣旨:

- 近年、日本の社会福祉をめぐるさまざまな領域において、地域共生社会のあり方が求められる一方で、既存の制度や社会サービスでは対応できない新しい社会問題・社会福祉問題が拡大し解決の途が模索されている。これらの諸問題に対して、従来はソーシャルワーク(SW)が取り組んで来た福祉課題の解決を、SW 専門職以外の他専門職種(看護・リハビリ職等)、さらには一般住民などが担い専門性の「越境」とも認識される事態が進行している。
- このような状況に対して、本学会第 34 回札幌大会・学会企画シンポジウムでは、「現代日本のスペシフィックな社会福祉問題とソーシャルワークの専門性～専門性の「越境」に対して、改めてジェネリックなアプローチを探る」をテーマに検討した。この課題に対して、当事者の個別ニーズに対応するミクロ実践をメゾ・マクロ領域の SW 実践に反映させ、それを福祉制度・施策、政策へと架橋するアプローチとして、SW アドボカシー、実践家・当事者参画型「プログラム開発と評価」、制度の狭間問題に対するコミュニティ SW 開発アプローチなどを取り上げて、SW の独自性・固有性の観点から討議した。
- 本セミナーは、この札幌大会における議論を引き継ぎ、特にソーシャルワーク・アドボカシーの方法論に焦点を当て、ソーシャルワークの専門性とジェネリックなアプローチの可能性を探索する。
- 2015年9月に厚生労働省「新福祉ビジョン」が提起され、2017年8月21日には「地域力強化検討会最終とりまとめ(案)～地域共生社会の実現に向けた新しいステージへ」が公表された。本セミナーでは、このとりまとめ案をソーシャルワークの視点から評価すると共に、これら現代日本の社会的ニーズに対応する SW アドボカシーの方法論について、コミュニティソーシャルワークやソーシャルアクションなど他の SW 方法論との比較や、地域における実践例から検討すると共に、その新たな役割と可能性について皆さまと共に討議したい。

◆◆セミナー・プログラム◆◆

○あいさつ:小山隆会長(日本ソーシャルワーク学会会長/同志社大学)

◆午前部◆ 《10:10-12:00》

本セミナーの位置づけ・趣旨

○本セミナーの趣旨と本学会の取り組み

発題者:大島巖氏(日本ソーシャルワーク学会副会長/日本社会事業大学)

□全体コーディネータ・ファシリテータ:

大島巖氏(同上)、小西加保留氏(関西学院大学)

連続基調講演(その1)

○基調講演①:厚生労働省地域力強化検討会最終とりまとめをコミュニティソーシャルワークの視点から読み解く ～「制度の狭間問題」に対して SW アドボカシーの視点と方法論をどう反映させるか～
発題者:川島ゆり子氏(花園大学)

○基調講演②:ソーシャルアクションの実践モデルと、その視角から見たソーシャルワークアドボカシーの役割と課題

～我が事・丸ごと地域共生社会実現の課題から「制度からの排除」にどう対応するか

発題者:高良麻子氏(東京学芸大学)

○コメント、質疑応答

・牧里毎治氏（日本ソーシャルワーク学会副会長／関西学院大学）、ほか

○昼食 《12:00-13:00》

◆午後の部◆ 《13:00-17:00》

連続基調講演(その2)

○基調講演③:ソーシャルワーク・アドボカシーの新たな役割と可能性

～我が事・丸ごと地域共生社会実現の課題からソーシャルワークに問われる専門性とは～

発題者:小西加保留氏（関西学院大学）

○対談:小西報告に対するコメント、高良氏・川島氏と小西氏の対談

実践報告とシンポジウム(その1)

○実践報告発題①:生活困窮者自立支援法に基づく「子ども支援を通じた地域づくり」のその後の展開～SW アドボカシーの視点と方法論をどう反映できるか:アセスメントシートの有効性に焦点を当てて～

発題者:小林聖子氏（社福・豊島区民社会福祉協議会／公社・日本社会福祉士会）

○実践報告発題②:「地域に必要な医療介護体制にソーシャルワーカーは何を発信し、どのように関わるか」のその後の展開～SW アドボカシーの視点と方法論をどう反映できるか

発題者:岡本紀宏氏（とよひら・りんく／公社・日本医療社会福祉協会）

○休憩 《15:00-15:15》

実践報告とシンポジウム(その2)～連続基調講演者3名からコメントと総合討論

コメンテータ①:川島ゆり子氏（花園大学）

コメンテータ②:高良麻子氏（東京学芸大学）

コメンテータ③:小西加保留氏（関西学院大学）

コメンテータ④:協賛団体関係者

総括 《16:50-17:00 終了》

小山隆会長、ほか

□協賛団体:

- ・公益社団法人日本社会福祉士会（依頼中）
- ・公益社団法人日本医療社会福祉協会（依頼中）
- ・公益社団法人日本精神保健福祉士協会（依頼中）
- ・特定非営利活動法人日本ソーシャルワーカー協会（依頼中）

□参加費(含・資料代):

- ・日本ソーシャルワーク学会会員・協賛団体会員：800円
- ・一般参加者：1000円
- ・学生：無料

お申し込みは当学会ホームページ受付フォームからお願いいたします。

お問い合わせは JSSSW 研究集会 2017 事務局<jsssw@mbf.nifty.com>までお願いします。

申込み締め切りは、11月12日（日）です。